

今後の再編統合の進め方

■学校再編に向けて令和7年度以降の取組

(1) 合意形成が必要

- ・学校再編基本計画に基づき、海部小と海南小の統合について、令和6年度説明会を海南地区、海部地区、穴喰地区で開催しました。
- ・説明会では、教育的視点、地域連携の視点、まちづくりの視点、学校施設の適正化の視点の4つの視点で再編統合後の教育方針を説明しています。
- ・加えて、児童生徒数の減少による課題、学校の適正配置と規模、再編方針について説明しています。
- ・運営上の課題に挙げている再編の時期判断は、海部小学校が単式学級を含まず、全てが複式学級で編成された時を判断基準にしている趣旨を説明しています。
- ・現在、海部小、穴喰小が複式学級を有しています。

(2) 令和7年度以降の学校再編に関する住民説明会の実施方針

- ・各学校で複式学級になっていくと教員の数（学級数・生徒数の県基準による加配教員数）も減っていきます。
- ・今後は、学校のあり方検討委員会で統合について見解をまとめ、教育委員会、教育総合会議、議会等庁内調整を進め、再編に向けたスクールバスの導入検討、学校整備計画を検討していきます。
- ・令和7年度以降、住民、地域、保護者等の方々と説明会等で意見交換することで合意形成を進めていきます。

■学校再編に向けて令和7年度以降の取組

(1) 学校再編の実施手順（留意事項）

- ・学校再編案で示した案について、学校関係者間で十分（必要な）に検討できる時間をかけること。
- ・地域の意見を反映させるため合意形成に時間をかけること。
- ・学校再編は時間的余裕をもって計画的に再編を実施する姿勢を伝えること。

※児童生徒数の動向（根拠）を踏まえて、再編統合時期の合意形成を図ることが目的

(2) 学校再編準備委員会（仮称）の設置の説明会開催

- ・再編統合時期の説明（教育委員会から令和〇年度統合時期案を提示）
- ・新しい学校づくりで、新たな学校名や教育活動、学校の組織等の扱いなど
- ・新教育大綱と教育振興基本計画の内容
- ・話し合って課題を抽出する
- ・地域との話し合いをどうするか決める

参加者の設定

- ・各学校のPTA、地域住民、学校関係者などリストアップする

■学校再編準備委員会案

部会名	主な作業内容
総務部会	○学校の名称、校章、校歌、校則等に関すること。 ○式典行事（記念式典、閉校式典等）に関すること。 ○再編校への移転計画に関すること。 ○制服、体操服に関すること。等
通学部会	○通学路に関すること。 ○スクールバス等、通学体制に関すること。 ○通学支援に関すること。等

(3) 学校再編に向けての留意事項

学校運営への配慮

- ・再編実施前の一定期間には各学校間での交流事業等を行う
- ・特別な支援を要する児童生徒に対しては、個別の教育支援計画等を確実に引き継ぐ
- ・新たな学校生活への円滑な移行が行えるよう児童生徒へ支援について検討する
- ・教職員や保護者等の戸惑いや不安を把握する
- ・各学校のコミュニティ・スクール、放課後こども教室お運営を話し合う